

低圧進相コンデンサの発火にご注意を！

<火災の予防を！>

例年、梅雨の時期から暑さが続く9月にかけて低圧進相コンデンサが原因となる火災が発生しています。昨年は広域管内で2件発生しており、出火原因は経年劣化によるものでした。

<低圧進相コンデンサとは！>

工場で使用する大きな機械や店舗で使用する業務用冷蔵庫など、モーターで動き、大きな電力を必要とする電気機器の配電盤に設置されています。主な役割は、電流を効率よく流すために電気を溜めておく機器です。

<低圧進相コンデンサの火災を防ぐために！>

- ① 機器を使用しない時はメインブレーカーを切り、低圧進相コンデンサに電圧がかからないようにしましょう。
- ② 昭和50年（1975年）以前に製造された製品には保安装置が内蔵されていないため、被害拡大のおそれがあるので使用の停止や交換をおすすめします。
- ③ 概ね10年以上経過したものは、専門業者による点検を受け、計画的に交換しましょう。



【問い合わせ】
能代山本広域市町村圏組合消防本部
予防課 危険物担当
電話 52-3312